

(1 2) その他

平成19年度第4回 平成19年10月10日(火)

クラウンプラザ神戸 9F 『リンデン』

- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
(2) 第16回基礎学術集会の件
(3) 第51回総会・学術集会の件
(4) 第17回基礎学術集会の件
(5) 第50回総会・学術集会の件
(6) 平成19年度会計中間報告の件
(7) 各種委員会報告の件
(8) 新入会員・退会会員の件
(9) その他

平成19年度第5回 平成20年2月8日(金)

朝日生命ビル27F 『Dルーム』

- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
(2) 第16回基礎学術集会の件
(3) 第51回総会・学術集会の件
(4) 第17回基礎学術集会の件
(5) 第52回総会・学術集会の件
(6) 平成19年度収支見込決算ならびに平成20年度予算案の件
(7) 各種委員会報告の件
(8) 評議員選挙管理委員会設置に関する件
(9) 名誉会員推戴に関する件
(10) 会費滞納者除名に関する件
(11) 新入会員・退会会員の件
(12) その他

平成19年度第6回 平成20年4月8日(火)

名古屋マリオットアソシアホテル16F 『サルビア』

- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
(2) 第51回総会・学術集会の件
(3) 第17回基礎学術集会の件
(4) 第52回総会・学術集会の件
(5) 第18回基礎学術集会の件
(6) 平成19年度会計決算報告ならびに平成20年度予算案の件
(7) 名誉会員推戴に関する件
(8) 各種委員会報告の件
(9) 選挙管理委員会委員選出の件
(10) 日韓形成外科学会の件
(11) 日中形成外科学会の件
(12) 会費滞納者除名に関する件
(13) 新入会員・退会会員の件
(14) 評議員提出議題の件
(15) その他

2. 評 議 員 会

平成19年度定例評議員会 平成19年4月10日(火)

ホテル日航東京 1F 『アポロン』

- 議 事
- (1) 平成18年度年次報告の件
 - (2) 平成18年度収支決算の件
 - (3) 平成19年度事業計画の件
 - (4) 平成19年度収支予算の件
 - (5) 専門医制度細則改定に関する件
 - (6) 名誉会員等推戴の件
 - (7) 第50回通常総会・学術集会の件
 - (8) 第51回(次期)通常総会・学術集会の件
 - (9) 第52回(次々期)会長候補者選出の件
 - (10) 第16回基礎学術集会の件
 - (11) 第17回(次期)基礎学術集会の件
 - (12) 第18回(次々期)基礎学術集会会長候補者選出の件
 - (13) 次期役員(理事・監事)候補者選出の件
 - (14) 次期専門医認定委員選出の件
 - (15) 日韓形成外科学会の件
 - (16) 日中形成外科学会の件
 - (17) 会費滞納者除名の件
 - (18) 評議員提出議題の件
 - (19) その他

3. 総 会

平成19年度通常総会 平成19年4月12日(木)

ホテル日航東京 1階 『ペガサス』

- 議 事
- (1) 平成18年度年次報告の件
 - (2) 平成18年度収支決算の件
 - (3) 平成19年度事業計画の件
 - (4) 平成19年度収支予算の件
 - (5) 専門医制度他細則改定に関する件
 - (6) 名誉会員等承認の件
 - (7) 第50回通常総会・学術集会の件
 - (8) 第51回(次期)通常総会・学術集会の件
 - (9) 第52回(次々期)会長候補者承認の件
 - (10) 第16回基礎学術集会の件
 - (11) 第17回(次期)基礎学術集会の件
 - (12) 第18回(次々期)基礎学術集会会長候補者承認の件
 - (13) 次期役員(理事・監事)候補者選任の件
 - (14) 次期専門医認定委員承認の件
 - (15) 日韓形成外科学会の件
 - (16) 日中形成外科学会の件
 - (17) 会費滞納者除名の件
 - (18) 評議員提出議題の件
 - (19) その他

事業報告

(1) 第50回日本形成外科学会総会・学術集会

会期：平成19年4月11日(水)、12日(木)、13日(金)

会場：ホテル日航東京(東京)

会長：栗原 邦弘 東京慈恵会医科大学形成外科学講座

下記の日本形成外科学会第50回記念講演、特別講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッションが行われた。

【日本形成外科学会 第50回記念講演】 第1日 4月11日(水)

司会 東京慈恵会医科大学形成外科 栗原 邦弘

『日本形成外科学会の歩み - 過去・現在・未来 - 』

順天堂大学形成外科元教授 丹下 一郎

長崎大学名誉教授 難波 雄哉

聖マリアンナ医科大学名誉教授 荻野 洋一

東京慈恵会医科大学名誉教授 丸毛 英二

【特別講演】 第2日 4月12日(木)

司会 川崎医科大学形成外科・美容外科 森口 隆彦

『手の先天異常に携わって - 基礎研究と臨床 - 』

山形大学整形外科 荻野 利彦

【特別講演】 第3日 4月13日(金)

司会 カレスサッポロ時計台記念病院形成外科 杉原 平樹

『今日の顔面美容外科』

クリニカ市ヶ谷 大森喜太郎

【招待講演】 第1日 4月11日(水)

司会 東京女子医科大学形成外科 野崎 幹弘

『Historical Overview and Personal Experience on Face Lifting』

Professor of Surgery New York University, Institute of Reconstructive Plastic Surgery, ISAPS Traveling Professor (U.S.A.)

Daniel C. Baker, M.D.

【招待講演】 第1日 4月11日(水)

司会 杏林大学形成外科 波利井 清紀

『Combined Surgical and Neurological Treatment Of Phantom Pain』

Director Department of Plastic and Aesthetic, Hand and Reconstructive Surgery Caritas Hospital (Germany)

Marita Eisenmann Klein, M.D.

【招待講演】 第3日 4月13日(金)

司会 名古屋大学形成外科 鳥居 修平

『Tissue Engineering and it's application in Plastic Surgery』

Department of Plastic and Reconstructive Surgery of Shanghai 9th People's Hospital Affiliated to Shanghai Jiao Tong University, School of Medicine (China)

Yilin Cao, M.D.

- 【招待講演】 第3日 4月13日(金)
 司会 東京医科歯科大学形成外科 秦 維郎
 『Autologous Breast Reconstruction with Free Tissue Transfers』
 Department of Plastic Surgery, The University of
 Texas M.D. Anderson Cancer Center (U.S.A.)
 David W. Chang, M.D.
- 【教育講演】 第1日 4月11日(水)
 司会 東京慈恵会医科大学柏病院形成外科 内田 満
 『血管腫・血管奇形に対するIVR』
 東京慈恵会医科大学放射線医学 貞岡 俊一
- 【教育講演】 第1日 4月11日(水)
 司会 富士市立中央病院形成外科 平川 正彦
 『軟部腫瘍の画像診断』
 東京慈恵会医科大学放射線医学画像診断部 福田 国彦
- 【教育講演】 第1日 4月11日(水)
 司会 徳島大学形成外科 中西 秀樹
 『糖尿病性大血管症とメタボリックシンドローム』
 東京慈恵会医科大学内科学糖尿病・代謝・内分泌内科 田嶋 尚子
- 【教育講演】 第2日 4月12日(木)
 司会 埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志
 『ポストゲノム時代の形態学』
 東京慈恵会医科大学DNA医学研究所 岡部 正隆
- 【教育講演】 第2日 4月12日(木)
 司会 北里大学形成外科・美容外科 内沼 栄樹
 『リアルタイムイメージングを用いた手術シミュレーションと
 手術ナビゲーションに関する研究の現状』
 東京慈恵会医科大学高次元医用画像工学研究所 鈴木 直樹
- 【教育講演】 第2日 4月12日(木)
 司会 東邦大学形成外科 丸山 優
 『頭頸部癌と再建』
 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科 加藤 孝邦
- 【教育講演】 第3日 4月13日(金)
 司会 大阪大学形成外科 細川 互
 『日常、遭遇する形成外科領域の線維増殖性病変(非腫瘍、腫瘍)の病理』
 東京慈恵会医科大学病理学 羽野 寛
- 【教育講演】 第3日 4月13日(金)
 司会 岩手医科大学形成外科 小林誠一郎
 『変わりゆく乳癌治療 - チーム医療の役割 - 』
 東京慈恵会医科大学外科 内田 賢

【教育講演】 第3日 4月13日(金)

- 『脳血管内治療の現状と将来展望』
司会 昭和大学形成外科 保阪 善昭
東京慈恵会医科大学脳神経外科脳血管治療部 村山 雄一

【シンポジウム】 第2日 4月12日(水)

- 『片側唇・顎・口蓋裂 - 今日の治療法に至った変遷と長期成績 -』
司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦
静岡県立こども病院形成外科 朴 修三

- S -1 ミラード法を原点とした手術法の変遷
昭和大学形成外科 保阪 善昭
- S -2 片側口唇裂初回手術(人中稜に沿った直線法をめざして)
慶應義塾大学形成外科 中島 龍夫
- S -3 当科における片側唇・顎・口蓋裂の治療
今日の治療法に至った変遷と長期成績
長崎大学形成外科 平野 明喜
- S -4 片側唇・顎・口蓋裂 今日の治療法に至った変遷と長期成績
川崎医科大学形成外科・美容外科 森口 隆彦
- S -5 Rotation and Advancement 法と
上顎骨発育を考慮した今日のクリニカルパス
東京慈恵会医科大学形成外科 栗原 邦弘
- S -6 われわれの片側唇顎口蓋裂術式の変遷と成績
京都大学形成外科 野瀬 謙介

【シンポジウム】 第2日 4月12日(木)

- 『手の機能改善を目的とした手術』
司会 東京大学形成外科 光島 勲
新潟大学形成外科 柴田 実

- S -1 悪性腫瘍切除後の母指再建
- 切除範囲縮小に伴う母指再建術式の変遷と問題点 -
北海道大学形成外科 古川 洋志
- S -2 手の腫瘍における機能温存と再建
癌研有明病院形成外科 澤泉 雅之
- S -3 骨延長による指尖部欠損の再建 - 治療成績と問題点 -
日本医科大学整形外科 澤泉 卓哉
- S -4 The Possibilities Of Transosseous Osteosynthesis
In Hand Surgery
Russian Ilizarov Scientific Center (Russia)
Natalia G. Shikhaleva
- S -5 軟部組織再建による手機能再建の検討
町田市民病院形成外科 松浦慎太郎
- S -6 手指機能再建 - とくに筋腱損傷の再建と予後について -
大津赤十字病院形成外科 石川 浩三

【シンポジウム】 第3日 4月13日(金)

『乳癌術後の乳房再建 - 自家組織移植と人工物：その適応と限界 - 』

司会 ナグモクリニック 南雲 吉則
東京慈恵会医科大学形成外科 武石 明精

- S -1 広背筋皮弁による一期的乳房再建の検討 - その適応と限界 -
大阪大学形成外科 矢野 健二
- S -2 遊離皮弁による乳房再建 - その適応と限界 -
東京慈恵会医科大学形成外科 武石 明精
- S -3 Reconstructive Mammoplasty After Breast Cancer Surgery
- Autogenous Tissue Transplantation and Artificial Materials :
Indications and Limitations -
Department of Plastic Surgery, The University
of Texas M.D.Anderson Cancer Center (U.S.A.)
David W. Chang
- S -4 Microsurgical Breast Reconstructions and Contralateral
Balance Procedures
Division of Reconstructive Microsurgery,
Department of Plastic and Reconstructive Surgery,
Chang Gung Memorial Hospital (Taiwan)
Ming Huei Chang
- S -5 乳房インプラントを用いた同時再建の秘訣
ナグモクリニック 南雲 吉則
- S -6 乳房再建 - 人工物と自家組織をどう使い分けるか -
蘇春堂形成外科 野平久仁彦

【パネルディスカッション】 第1日 4月11日(水)

『従来法と骨延長法による頭蓋形成術の適応』

司会 自治医科大学形成外科 菅原 康志
東京警察病院形成外科 秋月 種高

- P -1 当施設における頭蓋形成術での骨延長術の適応
順天堂大学形成外科 小室 裕造
- P -2 従来法と骨延長法による頭蓋形成術の適応
厚木市民病院形成外科 宮脇 剛司
- P -3 当科における頭蓋早期癒合症の治療
- reshaping と distraction の適応と限界 -
長崎大学形成外科 矢野 浩規
- P -4 従来法と骨延長法の比較と評価による頭蓋形成術の適応
大阪市立総合医療センター形成外科 今井 啓介
- P -5 頭蓋拡大のための骨延長法と従来法の適応について
市立岸和田市民病院形成再建外科 久徳 茂雄
- P -6 術後の発育からみる頭蓋形成術の適応の検討
大阪医科大学形成外科 大場 創介

【パネルディスカッション】 第2日 4月12日(木)

『頭蓋部癌切除後再建

- マイクロサージャリーの適応と非適応症例の手術結果 - 』

司会 岡山大学形成再建外科 木股 敬裕

		東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科	加藤 孝邦
P	-1	マイクロサージャリー適応症例の検討と非適応症例の検討 東京慈恵会医科大学形成外科	石田 勝大
P	-2	マイクロサージャリーの適応と非適応症例の手術結果 癌研有明病院頭頸科	三谷 浩樹
P	-3	舌癌切除後のマイクロサージャリーの適応と 非適応症例の手術結果の検討 静岡県立静岡がんセンター形成外科	中川 雅裕
P	-4	下顎再建術後の救済手術におけるマイクロサージャリーの適応と 非適応例の手術結果 国立がんセンター東病院形成再建外科	櫻庭 実
P	-5	下咽頭・頸部食道再建における手術結果 - 合併症分析からみた治療指針確率に向けての提言 - 東京女子医科大学形成外科	桜井 裕之
P	-6	頭頸部癌切除後再建における大胸筋皮弁の適応の拡大と結果 久留米大学形成外科・顎顔面外科	力丸 英明

(2) 第16回日本形成外科学会基礎学術集会

会期：平成19年10月11日(木)、12日(金)

会場：クラウンプラザ神戸(兵庫)

会長：田原 真也 神戸大学医学部形成外科学教室教授

下記の招待講演、特別講演、教育講演、座談会、シンポジウム、パネルディスカッションの他、研究発表が行われた。

【招待講演】 第1日 10月11日(木)

司会 帝京大学形成外科 平林 慎一

『21世紀の国際社会と日本』

同志社大学法学部 村田 晃嗣

【特別講演1】 第1日 10月11日(木)

司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦

『シュミレーション医工学と形成外科学』

京都大学再生医科学研究所ナノ再生医工学研究センター

シュミレーション医工学領域 堤 定美

【特別講演2】 第2日 10月12日(金)

司会 東京医科歯科大学形成外科 秦 維郎

『多種細胞による3次元組織再生工学へのチャレンジ』

東京医科歯科大学生体材料工学研究所神奈川科学技術アカデミー

中村 真人

【教育講演1】 第1日 10月11日(木)

司会 名古屋大学形成外科 鳥居 修平

『リーラーマウス中枢神経系の構造異常の解明をめざして』

神戸大学大学院医学系研究科生理学・細胞生物学講座神経発生学分野

奥田 晶彦

【教育講演2】 第2日 10月12日(金)
司会 日本医科大学形成外科・美容外科 百束 比古
『皮膚における成長ホルモン - インスリン様成長因子系の役割』
神戸大学大学院医学系研究科内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科
千原 和夫

【教育講演3】 第2日 10月12日(金)
司会 大阪大学形成外科 細川 亙
『毛髪再生医療の現状と未来』
大阪大学大学院医学系研究科皮膚・毛髪再生医学寄附講座 板見 智

【座談会 Part】 第1日 10月11日(木)
『何故、私はこの研究をしているのか』
司会 北海道大学形成外科 山本 有平
長崎大学形成外科 秋田 定伯
長崎大学形成外科 秋田 定伯
埼玉医科大学形成外科・美容外科 市岡 滋
慶應義塾大学形成外科 貴志 和生
藤田保健衛生大学形成外科 坂井 靖夫
東北大学形成外科 館 正弘
神戸大学形成外科 寺師 浩人
昭和大学形成外科 土佐 泰祥
日本医科大学形成外科・美容外科 水野 博司
北海道大学形成外科 古川 洋志
独立行政法人国立病院機構村山医療センター形成外科 長瀬 敬

【シンポジウム】 第1日 10月11日(木)
『形成外科学の基本1(発生学・形態学の新展開)』
司会 藤田保健衛生大学形成外科 坂井 靖夫
独立行政法人国立病院機構村山医療センター
臨床研究センター 松崎 恭一
S -1 形成外科の3次元形態学 - アートを如何にトレーニングするか -
佐賀大学形成外科 上村 哲司
S -2 レチノイン酸はMorphogen(形原)か?
藤田保健衛生大学形成外科 坂井 靖夫
S -3 口蓋の正常及び異常発生におけるレチノイド代謝の役割
京都大学形成外科 岡野 純子
S -4 The Crest Craft: 先天性疾患・再生医療における神経堤細胞の意義
独立行政法人国立病院機構村山医療センター臨床研究センター
長瀬 敬
S -5 組織形態を安定化させる遺伝的メカニズム
国立精神・神経センター神経研究所 井上 高良
S -6 両生類四肢再生にみる器官再生の基礎
東北大学大学院生命科学研究所 田村 宏治

【シンポジウム】 第2日 10月12日(金)

『形成外科学の基本2（傷のない世界を目指して）』

司会 金沢医科大学機能再建外科 川上 重彦
慶應義塾大学形成外科 貴志 和生

- S -1 組織内脂肪酸組成解析による scarless wound healing へのアプローチ
独立行政法人国立病院機構姫路医療センター形成外科 野村 正
- S -2 創傷治癒におけるアラキドン酸代謝のコラーゲン産生の
影響に関する解析
北海道大学形成外科 林 利彦
- S -3 縫合創に対する basic fibroblast growth factor (bFGF) の
局所投与による癒痕抑制効果
札幌医科大学皮膚科 小野 一郎
- S -4 創傷治癒促進から癒痕改善へ連動するヒト間葉系幹細胞
長崎大学形成外科 秋田 定伯
- S -5 癒痕のない世界をめざして
慶應義塾大学形成外科 貴志 和生

【パネルディスカッション】 第1日 10月11日（木）

『臨床応用に開花した基礎テーマ』

司会 慶應義塾大学形成外科 中島 龍夫
埼玉医科大学形成外科・美容外科 中塚 貴志

- P -1 顔面神経と舌下神経のネットワーク型神経再建：
病的共同運動の少ない神経二重支配を端側縫合で構築する
北海道大学形成外科 古川 洋志
- P -2 臨床に開花した基礎テーマ - 私の系譜
日本医科大学形成外科・美容外科 百束 比古
- P -3 ヒト培養軟骨の基礎研究と臨床応用
矢永クリニック組織再生研究所 矢永 博子
- P -4 臨床へのフィードバックを目指した我々の基礎研究テーマのたて方
慶應義塾大学形成外科 中嶋 英雄
- P -5 副業から開花した新しい「人工皮膚」
京都大学形成外科 鈴木 茂彦
- P -6 「臨床応用に実を結んだ基礎研究」培養表皮移植の臨床実用化に向けて
聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫

【パネルディスカッション】 第2日 10月12日（金）

『美肌の基礎研究』

司会 ウェルエイジングAACクリニック銀座 大和 雅之
藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子

- P -1 皮膚における色素沈着病態のメカニズム
杏林大学形成外科 岡崎 陸
- P -2 レチノイドによる色素沈着治療のメカニズム
東京大学形成外科 吉村浩太郎
- P -3 各種美白成分とその作用メカニズム
神戸大学皮膚科 船坂 陽子
- P -4 美肌の基礎研究（ホームスキンケアの功罪）

			クリニックウツギ	宇津木龍一
P	-5	skin resurfacing 術後の課題に対するスキンケア化粧品の可能性について考える		
			(株)カネボウ化粧品基盤技術研究所	井上紳太郎
P	-6	化粧品で美肌を保つための基礎研究		
			(株)資生堂技術部	長沼 雅子

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第27巻	2号	平成19年	2月	92頁	4,300部
第27巻	3号	平成19年	3月	58頁	4,300部
第27巻	4号	平成19年	4月	76頁	4,250部
第27巻	5号	平成19年	5月	56頁	4,300部
第27巻	6号	平成19年	6月	68頁	4,250部
第27巻	7号	平成19年	7月	60頁	4,250部
第27巻	8号	平成19年	8月	68頁	4,300部
第27巻	9号	平成19年	9月	68頁	4,300部
第27巻	10号	平成19年	10月	78頁	4,300部
第27巻	11号	平成19年	11月	58頁	4,330部
第27巻	12号	平成19年	12月	87頁	4,350部
第28巻	1号	平成20年	1月	62頁	4,300部

(4) Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery を発行した。

第41巻	1号	平成19年	3月	48頁	4,100部
第41巻	2号	平成19年	5月	48頁	4,100部
第41巻	3号	平成19年	7月	56頁	4,100部
第41巻	4号	平成19年	11月	64頁	4,100部
第41巻	5号	平成20年	1月	60頁	4,100部
第41巻	6号	平成20年	2月	64頁	4,100部

(5) 学術研修会及びインストラクショナル・コースを下記のとおり開催した。

1. 学術研修会

日 時；平成19年4月10日(火)午後1時00分 ~ 午後5時00分

会 場；ホテル日航東京 1F 『ペガサス』

テーマ1；“難治性潰瘍”

題目および講師

1) 難治性潰瘍の病態と診断

神戸大学形成外科 寺師 浩人

2) 脈管性潰瘍

日本医科大学形成外科 水野 博司

3) 糖尿病性潰瘍

兵庫医科大学形成外科 西本 聡

4) その他(膠原病性、神経性など)の難治性潰瘍

川崎市立多摩病院形成外科 松崎 恭一

テーマ2；“臨床研究・統計学のエッセンス”

5) “臨床研究・統計学のエッセンス”

2. インストラクショナル・コース

日 時；平成19年10月10日（水）午後1時00分～午後5時00分

会 場；クラウンプラザ神戸 10F 『ザ・ボールルーム』

テーマ1；“眼瞼・眼窩”

題目および講師

1) 解剖・機能

つるきり形成・皮フ科 鶴切 一三

2) 眼瞼下垂症

信州大学形成再建外科 松尾 清

3) 外傷（骨折を含む）

聖隷浜松病院眼形成眼窩外科 嘉島 信忠

4) 腫瘍とその他の眼窩疾患

神戸大学眼科 安積 淳

テーマ2；“感染対策”

5) 形成外科における感染対策

福岡大学形成外科 大慈弥裕之

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成19年度専門医合格者氏名（受付順敬称略）

奥村 慶之	三木 綾子	高田 亜希	鈴木 文恵	大橋菜都子
瀧川 恵美	深谷 佳孝	庄野 文恵	北村 理子	片山 祥子
氷見 祐二	柿崎 桜	木下 幹雄	貴島 顕二	片山 公介
小川 令	瀬田 浩之	宮村 卓	陳 貴史	小幡 有史
網倉 良安	大河内裕美	蔵持 大介	青木 繁	上田 拓文
草野 太郎	風間健太郎	今泉 督	北村 珠希	長谷川正和
加藤 摩衣	三河内 明	台蔵 晴久	白川真紀子	吉田 栄香
森 晃子	浅井 笑子	戸澤 麻美	服部 亮	安倍 吉郎
草野 貴子	宮本 慎平	藤村 淳	山川 知巳	石井 啓子
野々村秀明	山本 崇	井上 義一	安田 聖人	大西早百合
富田 興一	小池 幸子	塚本 金作	本田 衣麗	植村 法子
井上 唯史	山内 誠	青木 恵美	森久陽一郎	山中 清孝
吉村 友希	古賀 美穂	柳林 聡	阿川かおり	杉山 成史
矢沢 慶史	茅野 真子	姫田 十二	藤田 幸代	徳山英二郎
杉本 孝之	吉田 聖	宮田 明人	北澤 義彦	鈴木 真澄
濱本 有祐	高橋 義雄	石崎 力久	櫻井 圭祐	安藤 太一
茅野 修史	松峯 元	橋爪克光知	池田佳奈枝	横川 秀樹
松岡 保子	三枅 律子	大山 聡美	廣富 浩一	
梶月 玲子	山崎 和紀	小熊 孝	石曾根亜希	

合計93名（応募者116名）

(7) 日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成20年度新認定施設名

【地 区】

【施 設 名】

【登録番号】

北海道 東 関	医療法人母恋日鋼記念病院形成外科	08 - 1 2 1 A	
	長野県厚生連佐久総合病院形成外科	08 - 2 2 5 A	
	いわき市立総合磐城共立病院形成外科	08 - 4 1 1 A	
	東京女子医科大学八千代医療センター形成外科	08 - 4 1 2 A	
	横浜市立みなと赤十字病院形成外科	08 - 4 1 3 A	
	財)癌研究会有明病院形成外科	08 - 4 1 4 A	
	立正佼成会附属佼成病院形成外科	08 - 4 1 5 A	
	帝京大学ちば総合医療センター皮膚科内形成外科診療班	08 - 4 1 6 A	
中部 関	上尾中央総合病院形成外科	08 - 4 1 7 A	
	福井赤十字病院形成外科	08 - 5 6 7 A	
	浜松医科大学医学部附属病院形成外科	08 - 5 6 8 A	
	小牧市民病院形成外科	08 - 5 6 9 A	
	近畿大学医学部奈良病院形成外科	08 - 6 6 7 A	
	八尾徳洲会総合病院形成外科	08 - 6 6 8 A	
	赤穂市民病院形成外科	08 - 6 6 9 A	
	京都第二赤十字病院形成外科	08 - 6 7 0 A	
中国・四国	六甲アイランド病院形成外科	08 - 6 7 1 A	
	国立病院機構姫路医療センター形成外科	08 - 6 7 2 A	
	独立行政法人国立病院機構岩国医療センター形成外科	08 - 7 3 5 A	
	徳島県立中央病院形成外科	08 - 7 3 6 A	
	福山市民病院形成外科	08 - 7 3 7 A	
	山口大学医学部附属病院皮膚科内形成外科診療班	08 - 7 3 8 A	
	九州	飯塚病院形成外科	08 - 8 5 3 A
	特定医療法人仁愛会浦添総合病院形成外科	08 - 8 5 4 A	
熊本労災病院形成外科	08 - 8 5 5 A		

(8) 日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A) 平成19年度専門医更新者氏名(順不同敬称略)

瀬野 久和	渡部 功一	鵜飼 潤	藤山 幸治	北山 稔大
栗谷川 彰	坂本 泰輔	中井 國博	桑原 理充	輪湖 雅彦
兼森 良和	本多 孝之	松尾 由紀	北村理絵子	田中 早苗
一瀬 晃洋	横山 明子	都甲 武史	山口 素子	菱沼 茂之
西村 雄	川添 剛	篠山 美香	島田 茂孝	田所 丈嗣
宇津木龍一	森戸 浩明	伊東 信久	大久保 麗	土屋 裕一
宮田 信之	吉村 圭	今井 香織	高山 敦子	寺田 伸一
夏井 裕明	野澤 竜太	毛利 麻里	勝又 純俊	寺井 勉
林 正康	中山 敏	瀬渡 洋道	加地 展之	門松 香一
富樫 真二	田崎 公	松尾 光一	渡部 慎司	石原 剛
堤 清明	小泉 正樹	チム 倫代	岩切 致	横内 哲博
元村 尚嗣	福田 健児	中村 健	井上 淳	前田 昌己
林 いづみ	福田 智	森田 昌宏	大野 正浩	義本 裕次
斉藤康太郎	酒井 規	巢瀬 忠之	伊藤 文人	奥田 裕章

橋田 直久	町野 重昭	松倉 知之	木村 哲治	大木更一郎
林 博之	下間亜由子	竹内 章晃	大場 創介	高濱 宏光
水野 貴史	大谷 謙太	日笠 壽	井手 裕	山本 達
久島 英雄	副島 宏美	江崎 茂	片平 次郎	棚橋 慎治
吉田 益喜	杠 俊介	中束 和彦	下田 勝巳	水沼 雅斉
藤井 勝善	鎌田 聡	高梨 真教	磯野 伸雄	大塚 佳子
飯田 直成	館 正弘	岡崎 正	河田 真作	今野みどり
古川 雅英	西村 篤	木村 裕明	小川祐一郎	栗本沙里奈
市野 直樹	西本 聡	堀 直博	原元 潮	佐瀬 道郎
佐々木雄史	亀井 讓	竹野 巨一	吉龍 澄子	千島 康稔
江副 京理	近藤加代子	姫路 完	佐武 利彦	
古川 元祥	加藤 久和	阿部 直樹	山崎 明久	
田中 聡	大井 克之	鈴木 健司	村上 正洋	

以上 132 名 (申請者 137 名)

B) 日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第 11 条並びに専門医制度細則

第 29 条第 4 項により専門医資格を取り消される者 (順不同敬称略)

尾郷 賢 遠藤 陽一 佐藤 俊次 森田 泰鎮 山野辺裕二

以上 5 名

(9) 日本形成外科学会 50 周年記念事業記念式典を行った。

日 時：平成 19 年 4 月 11 日 (水) 16:00 ~ 18:00

会 場：ホテル日航東京 ペガサス

(10) 各種委員会報告

1) 財務委員会

委員長：川上 重彦

委員：鳥居 修平、中塚 貴志、丸山 優、森口 隆彦

開催年月日：メール委員会

主な議題：1. 平成19年度日本形成外科学会の収支について
2. 平成20年度日本形成外科学会の予算編成について
3. 収支改善案について

活動の概要：1. 平成19年度日本形成外科学会会計収支の確認作業
2. 平成20年度日本形成外科学会の予算案作成
3. 収支改善案を理事会に答申
4. 国際会議積立金の対象として日中形成外科学会、日韓形成外科学会を加えた。

* 収支改善案

- 1) 委員会経費の削減
- 2) 年会費の値上げ
- 3) 学会誌刊行号数の削減
- 4) 春季学術集会、秋季学術集会助成の見直し
- 5) 認定施設、教育関連施設認定審査料の見直し

2) 専門医認定委員会

委員長：中西 秀樹

担当理事：保阪 善昭

委員：朝戸 裕貴、磯貝 典孝、上田 晃一、大慈弥裕之、金子 剛
亀井 譲、光嶋 勲、佐々木健司、佐藤 兼重、武石 明精
館 正弘、百束 比古、宮坂 宗男、吉本 信也

開催年月日：平成19年10月12日 平成19年12月1日
平成19年12月25日 平成20年1月25日・26日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査
2. 専門医認定審査
3. 専門医認定制機構による指導内容への検討

活動の概要：1. 専門医申請者116名に対し、平成19年12月1日にスクワール麹町にて提出書類による資格審査を行った。
2. 資格審査で問題がありとされた申請者からの弁明に対し、メール委員会を開き審査した。
3. 資格試験合格者111名に対し、平成20年1月25～26日にホテルニューオータニで筆記および口頭試問による試験を行った。専門医認定試験最終結果
4. 専門医申請者：116名
書類審査不合格者：5名
筆記・口頭試問試験不合格者：17名
欠席：1名
専門医認定試験合格者：93名

5. 記述式問題を1問出題した。今回は採点に加えないが、合否ボーダーラインの際の資料にすることを書類審査の結果を通知する際記載し、受験者に連絡した。
6. 手引きの文言について見直しをした。9.申請書類記入上の注意として、C)10症例の「(10)手術記録は、シェーマか写真で明確に詳しく記入してください」を「(10)手術記録は、写真とシェーマ(写真は必須)で明確に詳しく記入してください」に変更することにした。
7. 日本専門医認定制機構より以下の件について検討するよう指示があった。

医療安全、医療倫理、医療法制なども試験に含めること。
専門医試験問題委員会にてまずは問題を作成してもらうことにした。

人物評価の要素も試験に加えること。

本年度試験より試験官3名がA,B,Cで評価し、3名のうち2名以上がCと評価した場合は、理由を明記した資料に基づき委員全員で最終合否判定をすることにした。

申請書類の研修実績等に関する何らかの監査、調査システムを検討すること。

申請10症例について、手術記録のコピー、施設長またはオペの責任者による証明書を提出してもらってはどうかと理事会へ答申したが、差し戻されたため引き続き検討することにした。

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：吉村 陽子

委員：秋元 正宇、阿部 清秀、一瀬 正治、今井 啓介、上田 和毅
大久保文雄、菊池 雄二、楠本 健司、小林 一夫、仲沢 弘明
中束 和彦、湊 祐廣、吉村浩太郎

開催年月日：平成19年10月11日

平成20年2月2日(更新審査委員会)その他適宜メール委員会

- 主な議題：
1. 専門医認定制機構からの課題にたいする対応
 2. 平成20年度専門医更新審査
 3. 委員会承認の学術集会・研修会の更新審査
 4. 学術集会(研修会等)新規登録申請に対する審査
 5. 更新審査における問題点の検討

- 活動の概要：
1. 専門医認定制機構より、専門医更新の条件として“現役で診療を行っている”を必須条件とするよう求められているため、診療実績表の原案を作成した(以下資料)。
 2. 専門医資格更新審査の該当者は147名で、更新を承認され

たものは129名、書類不備5名、留保3名、未提出5名、資格喪失する者5名であった。

3. 留保願い3件は、いずれも留学の理由より1年の留保を認めた。
4. 書類不備の5名中2名は、異議申立て期間中に不足分の出席証明を送付、更新を承認。他の2名は3月中に出席点数を満たす予定との返事を得て保留中。1名は異議申し立てなく、資格停止となった。
5. 委員会承認の学術集会・研修会の更新審査について
平成16年に承認された「埼玉手の外科研究会」「日本褥瘡学会中部地方会」について3年分のプログラム等を確認、審査し更新を認めた。
6. 学術集会（研修会等）新規登録申請に対する審査について
学術集会、研修会の新規登録申込が6件あり、「日本褥瘡学会東北地方会」「血管腫・血管奇形研究会」「札幌合同症例検討会」「福島県形成外科研究会学術集会」「東京医科歯科大学形成外科集談会」については出席3点、「日本レーザー医学会」については出席4点とした。なお、学術集会申請の際、その学会の会員に形成外科医がどのくらいいるかわかるよう登録申請書に項目を追加することにした。

7. 今後の問題点

支部学術集会と地方会の申告点数に誤りの多いことから、委員長名で各支部長あてに出席証明書に点数を記載してもらうよう依頼することにした。

提出書類が乱雑なことから、次回より手引きに見本の台紙を加え、「見本の台紙をコピーし、年度ごとに証拠書類を貼って提出してください。乱雑な場合は受理できない場合もあります」を追記することにした。

生涯基準点数にある「関連著書」について判断に迷うことから「学術的なもの、医家向けのもの」を追記することにした。

手引きに「その他委員会が認めた形成外科関連の国際学会」8点、「その他特に委員会が認めたもの」6点、「その他委員会が認めたもの」3点とあるのに、国際シミュレーション外科学会6点、日本外科系連合学会、日本乳癌学会4点は整合性がないため、すべてを一括して、「その他特に委員会が認めたもの」（別紙一覧）とすることとした。一覧表にない学会については認めないことを確認した。

形成外科診療実績記録（書式見本例）

申請者氏名 _____

診療実績（H@@(200@)/1/1～H@@(200@)/12/31）

期間	診療を行った施設名 ：所在地	勤務の態様 (常勤・非常勤)	外来担当日数： 1日の患者数（平均）	手術件数 (月平均)	手術以外の治療 内容と件数 (月平均)
				5年間の合計 約 件	5年間の合計 約 件

年度別に勤務先ごとに罫線で分けて記入してください。
欄が不足する場合にはコピーして使用してください。

4) 認定施設認定委員会

委員長：熊谷 憲夫

委員：石川 浩三、上田 和毅、岡 博昭、小室 裕造、田中 克己
横尾 和久、吉田 哲憲

開催年月日：平成19年10月12日 平成20年2月15日
平成20年3月6日(メール委員会)

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の新規認定と更新認定
2. 専門医認定制機構による指導内容への検討
3. 教育関連美容外科施設認定基準の検討

活動の概要：1. 認定施設は、新規申請28施設中25施設を認定した。更新は211施設申請中209施設を認定、2施設を教育関連施設への転換を承認した。教育関連施設は、新規申請41施設全てを認定した。更新は150施設中117施設を認定、19施設を認定施設への転換を承認、14施設を取り消しとした。

2. 教育関連施設美容外科の件

美容外科施設が教育関連施設となる条件について検討した。

~~~~~

美容外科が教育関連施設となる条件は以下のとおりである。

親となる施設の所定の推薦状があること。

形成外科専門医が常勤していること。

手術件数について以下の2項目のいずれかを充足すること。

1. 入院手術または全麻手術が年間80例以上あること。

2. 入院手術または全麻手術1例を係数1.0、局麻手術1例を

係数0.5とした場合の合計が年間130以上であること  
形成外科に関する教育研究活動(実績点1点以上/年)を行っていること。

形成外科研修年間カリキュラムを有すること。

施設認定基準内容研修体制(院内学習、検討会、CPC、医療倫理、安全対策等)が行われていること。

#### 4. 専門医認定制機構からの指導事項について

1) 「研修施設認定に関しては認定施設ごとの研修カリキュラム作成を必須にしてください。」については平成20年度より認定施設、教育関連施設とも申請時だけでなく、更新時も提出してもらうことにした。

2) 施設認定基準内容研修体制として要求されている院内学習、検討会、CPC、医療倫理、安全対策等については年次報告書の内容にチェック項目を設けることにした。

#### 5. その他

1) 条件が満たないため更新しない施設は年次報告書を未提出とする施設があるが、年次報告書は現施設の状況を報告するものでもあるので、更新に関わらず年次報告書を必ず提出いただくことにした。

#### 5) 学 術 教 育 委 員 会

委員長：田原 真也

委員：赤松 正、市岡 滋、井上要二郎、上村 哲司、梅田 整  
江口 智明、岡 博昭、奥本 隆行、柏 克彦、梶川 明義  
木村 中、下間亜由子、田中 嘉雄、寺師 浩人、橋川 和信  
橋本 裕之、深水 秀一、村上 正洋、矢野 浩規、四ツ柳高敏

開催年月日：平成19年4月12日 平成19年7月25日  
平成19年7月30日 平成19年8月2日  
平成19年8月20日 平成19年9月6日  
平成19年10月1日 平成19年10月11日  
平成19年10月23日 平成19年10月30日  
平成19年12月17日 平成20年1月16日  
平成20年1月24日 平成20年1月26日  
平成20年2月10日 平成20年3月3日

(電子メール委員会を含む)

主な議題：1. 春季学術研修会開催の件  
2. 秋季 Instructional Course 開催の件  
3. 学術奨励賞選考の件

活動の概要：1. 平成19年4月10日、春季学術研修会をホテル日航東京で開催。参加申込307名。  
2. 平成19年10月10日、秋季 Instructional Course をクラウンプラザ神戸で開催。参加申込365名。

- 3 .平成 19 年度学術奨励賞候補論文を理事会に上申し、以下の 3 編が決定した。

《学術奨励賞》

- ・ 戎谷 昭吾 (川崎医科大学形成外科・美容外科)  
『内側足底動脈における立体的血管解剖の解析 - 特に内側足底皮弁, Medialis Pedis Flap の血管分岐について - 』 日形会誌 27: 13 -19, 2007
- ・ 多久嶋亮彦 (杏林大学形成外科)  
『Reconstruction of maxillectomy defects with free flaps - comparison of immediate and delayed reconstruction: A retrospective analysis of 51 cases』 Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg 41: 14 -21, 2007
- ・ 久保 盾貴 (大阪大学形成外科)  
『The neurotrophin receptor p75(NTR) in Schwann cells is implicated in remyelination and motor recovery after peripheral nerve injury』 Glia 55: 1199 -1208, 2007

6 ) 機 関 誌 編 集 委 員 会

委 員 長 : 細川 互

担 当 理 事 : 中島 龍夫

委 員 : 石川 浩三、今井 啓介、上田 晃一、大竹 尚之、大山 知樹  
楠本 健司、久徳 茂雄、光嶋 勲、坂井 靖夫、菅原 康志  
鈴木 義久、多久嶋亮彦、田中 一郎、土佐 泰祥、鳥山 和宏  
中岡 啓喜、西本 聡、橋本 裕之、藤川 昌和、三川 信之  
宮坂 宗男、矢野 健二、山脇 吉朗、四ツ柳高敏

開催年月日 : 平成 19 年 10 月 12 日

- 主な議題 : 1 . 機関誌編集について  
2 . 投稿論文へのクレーム対応について  
3 . 投稿論文の査読について

- 活動の概要 : 1 . 機関誌「PRS 目次」掲載については、検討の結果、省くこととした。  
2 . 機関誌への「総会、基礎学術集会抄録」掲載について、検討した。  
3 . 投稿論文へのクレームについての対応を検討した。  
4 . 投稿論文査読についての確認。  
5 . 平成 19 年 (1 月 ~ 12 月) の投稿状況と査読結果

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 投稿論文数  | 1 2 9 編                   |
| 掲載決定   | 9 3 編                     |
| 却下     | 1 2 編                     |
| 取り下げ   | 2 編                       |
| 査読・訂正中 | 2 2 編 (平成 20 年 3 月 5 日現在) |

7) 渉外・広報委員会(ホームページ実務委員会含む)

委員長: 鳥飼 勝行

委員: 岩波 正陽、緒方 寿夫、木下 浩二、清水 祐紀、白壁 征夫  
原田 輝一、松尾 清

(ホームページ実務委員会)

委員長: 松村 一

委員: 荻野 浩希、寺田 伸一、二ノ宮邦稔、山田 直人

開催年月日: 平成19年4月12日 平成19年10月11日

その他メール委員会

主な議題: 1. 広報活動(学会誌ニュースレター)の報告  
2. ホームページ「形成外科で扱う疾患」の改訂

活動の概要: 1. 学会誌へのニュースレターの掲載  
2. 学会ホームページの更新作業を行った。  
3. ホームページ委員会にて「形成外科で扱う疾患」の改訂が終了し、理事会に提出した。

8) 国際委員会

委員長: 鈴木 茂彦

委員: 中塚 貴志、野崎 幹弘、平林 慎一、丸山 優、森口 隆彦

開催年月日: 平成19年10月12日、その他メール委員会

主な議題: 1. IPRAS/APS 開催について  
2. 外国会員の推薦

活動の概要: 1. The 10th Congress of IPRAS/APS 組織委員会について協議した。  
2. 申請のあった1名について審査した。  
3. 形成外科国際学会が2年おきに開かれることに係わる諸問題を協議した。

2009年11月29日-12月7日 インド・ニューデリー

2011年5月22日-27日 カナダ・バンクーバー

2013年 チリ・サンチアゴ

9) 社会保険委員会

委員長: 金子 剛

担当理事: 保阪 善昭

委員: 相原 正記、秋元 正宇、井砂 司、井上 邦雄、井上要二郎  
岩澤 幹直、宇田川晃一、大久保文雄、大西 清、大場 創介  
貴志 和生、島田 賢一、関口 順輔、田中 嘉雄、鳥山 和宏  
西村 剛三、二ノ宮邦稔、前川 二郎、湊 祐廣、村上 隆一  
吉田 哲憲

開催年月日: 平成19年4月12日(全体) 平成19年8月3日(在京)  
平成19年10月12日(全体) その他適宜 e-mail 委員会

活動の概要: 1. 診療報酬改正(主たる項目のみ記載)  
新設

K180 頭蓋形成術3 21,000点 先進医療の顔面骨または頭蓋

骨の観血的移動術(顔面骨または頭蓋骨の先天奇形に係わるものに限る)の保険収載されたもの

K443 上顎骨形成術3 32,400点 同上

K444 下顎骨形成術4 27,800点 同上

K487 漏戸胸手術3 胸腔鏡によるもの 30,200点

K939 画像等手術支援加算2 実物大臓器立体モデルによるもの2,000点 先進医療の実物大臓器立体モデルによる手術計画(頭蓋・顎顔面領域の骨変形,欠損もしくは骨折,四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係わるものに限る)の保険収載されたもの

改正

K013 全層,分層植皮術が K013 分層植皮術と K013 1 全層植皮術 が2分された.分層は減額,全層は増額となり,2倍以上の差が設定された。

K017 遊離皮弁術 3000点増額(40,000 43,000).

K020 自家遊離複合組織移植術 3000点増額(46,200 49,200).

K048 骨内異物(挿入物)除去術1(4,650点)に頭蓋・顔面が含まれた。

K059 骨移植術1 自家骨移植 860点減額(9,160 8,300)

その他は増点.皮膚科軟膏療法も同様。

## 2. 外科系学会保険委員会連合(外保連)関連

外保連活動への参加状況

常任委員:関口順輔,金子 剛

総務委員会:関口順輔

実務委員会:大西 清

手術委員会:大西 清(医療材料・医療機器ワーキンググループ),相原正己(コーディングワーキンググループ)

処置委員会:関口順輔(委員長),宇田川晃一,金子 剛(副委員長)

検査委員会:関口順輔,宇田川晃一,相原正己

広報委員会:金子 剛

外保連から厚生労働省に提出する社会保険診療報酬改正要望書の作成に参加した。

外保連3試案(手術,処置,検査)の内容の検討に協力した。

## 3. 日本医師会疑義解釈委員会関連

供給停止予定品目について検討を行った。

保険収載の希望があった材料について答申を行った。形成外科関連では自家培養表皮(ジェイス)について,皮膚科学会飯島正文委員(昭和大学皮膚科教授,同病院長)と連名で答申を行った。臨床治験が2例と少なく有効性,安全性が証明されていないとして保険収載不可となった。これに関連して日本医師会から熱傷学会理事・保険委員長佐々木健司教授(形成外科)

に意見書の依頼がなされた。

リンパ浮腫治療の保険適応の要望書が日本産婦人科学会と日本婦人科腫瘍学会から提出されたが、保険診療の範囲についての事実誤認と標準治療に外科的治療が含まれていない点について指摘を行った。

#### 4. 先進医療専門家会議関連

形成外科関連の新規技術はなし。

先進医療の施設基準の見直しを行った。形成外科関連技術については外科系当直でよいことになった。

先進医療の保険導入について

形成関係は顔面骨または頭蓋骨の観血的移動術（顔面骨または頭蓋骨の先天奇形に係わるものに限る）と実物大臓器立体モデルによる手術計画（頭蓋・顎顔面領域の骨変形，欠損もしくは骨折，四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係わるものに限る）の2技術が、優先的に保険導入が適切であると評価された24技術に含まれた（前述）。

先進医療の実施要件の見直しがあり，“顎顔面補綴”について、実施責任医師に形成外科専門医を含めることとなった。

#### 5. 「臨床的使用確認試験」に関する検討会関連

平成18年10月、健康保険法の一部改正により、高度先進医療が先進医療として継続されることになったが、薬事未承認薬品、材料、器械を用いている技術は一定の経過期間後除外されることとなった。そこでこれらのうち治験等の既存の保険外併用療法の対象とならない医療技術を、経過期間後も継続して保険と併用できるようにするため、有効性等の一定の要件を満たす技術については「臨床的使用確認試験」の対象とすることとなった。

「臨床的使用確認試験」に関する検討会は、この試験の対象とすべき技術の要件および該当する技術について検討するもので第1回より第4回までより本検討会の委員として参加してきた。結果として13技術について4月より臨床試験として開始されることになった。

今後薬事法の承認が得られていない医薬品・医療機器の使用を伴う先進的な医療技術については，“高度医療評価制度”のもとで、先進医療の一類型として保険の併用を可能にして、薬事法の申請等に繋がる科学的評価可能なデータ収集の迅速化を図ることになった。

形成外科関係では、血管腫に対する硬化療法，乳房インプラント，エキスパンダーなどが適応になると考えられる。

#### 6. 保険医療材料専門組織関連

形成外科関連の材料の申請なし。

#### 7. DPC 関連

厚労省保険局主催のMDC毎作業班に以下の如く班長又は班員として参加して診断群分類の精緻化，適正化に協力した。

MDC1 神経，MDC 2 眼 大久保文雄

MDC 3 耳鼻科 金子 剛

MDC 7 筋骨 二ノ宮邦稔

MDC8 皮膚 相原正記

MDC 9 乳腺 貴志和生

MDC14 先天異常 宇田川晃一

MDC16 外傷その他 金子 剛（班長）井砂 司，秋元正宇

#### 8. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

日本小児期外科系関連学会協議会として厚生労働省に改正要望書を提出した。

#### 9. 広報活動

ランチョンセミナー 「形成外科保険診療をめぐる最近の話題」2007年4月12日

司会：関口順輔，金子 剛

演者：貴志和生，宇田川晃一，大西 清

社会保険形成外科診療報酬点数早見表の監修を行い，（株）キッセイ薬品工業の販促品として全国の形成外科に配布された。

またケロイド・肥厚性瘢痕研究会のHPにも掲載された。

#### 10. その他

#### 10) メンバーシップ委員会

委員長：鳥居 修平

担当理事：渡辺 克益

委員：酒井 直彦、佐々木健司、森口 隆彦

開催年月日：平成19年10月11日、その他メール委員会

主な議題：会員の不祥事について

活動の概要：医道審議会で1年間医業停止処分が決まった会員に対して、1年間の会員資格停止とし、ホームページから氏名を削除した。それに伴い会員資格停止に関する定款の検討を依頼した。

#### 11) 倫理委員会

委員長：渡辺 克益

委員：大慈弥裕之、多久嶋亮彦、土井 秀明、吉村浩太郎、中島 龍夫

開催年月日：メール委員会

主な議題：倫理規定の検討

活動の概要：倫理委員会は理事長の指示に基づいて E-mail にて以下の議題を検討した。

形成外科学会倫理規定の検討

各学会の倫理規定を参考に形成外科学会としての倫理規定案を作成中である。

患者データベースについての倫理審査。



現在の日形会倫理委員会は、

- 1：学会員のみで形成されている
- 2：構成員が男性のみである
- 3：法律家の参加がない

以上のことから、この案件についての委員会単独での倫理審査は公平性、透明性を欠く可能性がある。

そのため、女性、法律家、医療データベースについての専門家を外部委員として加えた臨時的倫理審査を検討するとともに、第三者である財団法人パブリックヘルスリサーチセンターに所属する倫理審査委員会における委託倫理審査を理事会に提案した。審査のためのデータ提出をデータベース委員長に要請中である。

#### 12) 定款検討委員会

委員長：百束 比古

担当理事：中島 龍夫

委員：内田 満、熊谷 憲夫、平野 明喜

開催年月日：メール委員会随時

主な議題：会員資格停止に関する規約の改定、教育関連美容外科施設に関する規約の改定、専門医認定委員増員に関する規約の改定

活動の概要：上記議題についての改訂作業を行った。(第5号議案として示した)

#### 13) 企画調査委員会

委員長：木股 敬裕

担当理事：鳥飼 勝行

委員：秋田 定伯、大竹 尚之、垣淵 正男、澤泉 雅之、橋本 一郎  
朴 修三、矢野 健二

開催年月日：平成19年10月12日 その他 e-mail 委員会2回

主な議題：1.平成19年-20年度の活動方針について

2. 科研費等補助金取得に関する調査

3. 形成外科専門医の卒後教育に関わる調査

4. 形成外科疾患データベースWG活動の継続

5. 形成外科女性医師における勤務実態調査

活動の概要：1. 科研費等補助金取得に関するアンケートを実施した(平成2年1月)集計結果について理事会へ報告した(資料)

2. 形成外科専門医の卒後教育に関わるアンケート内容を検討中。

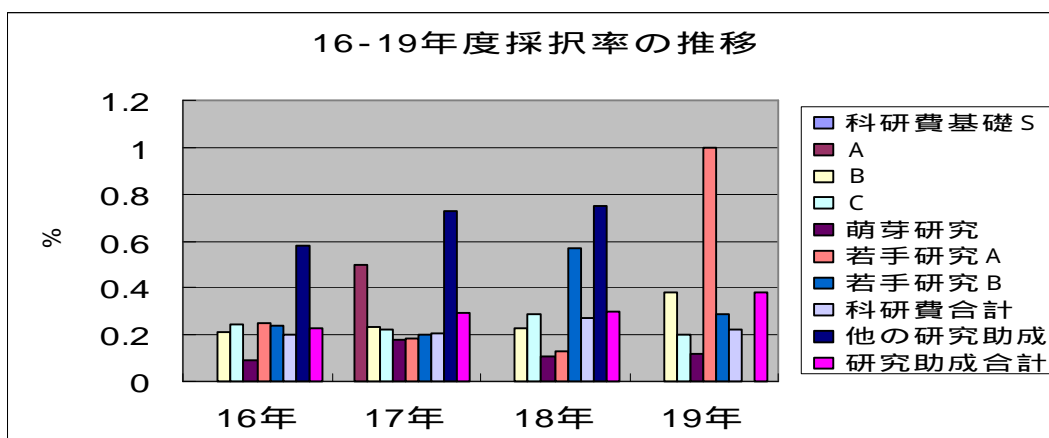
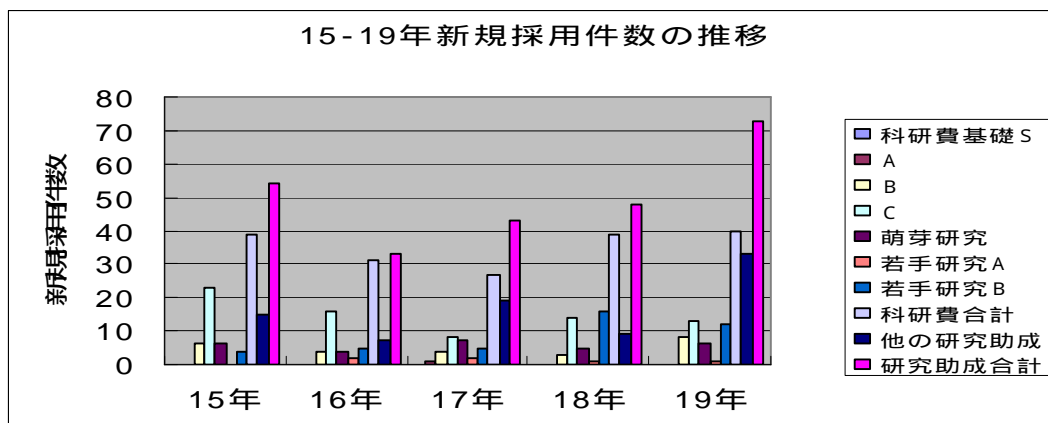
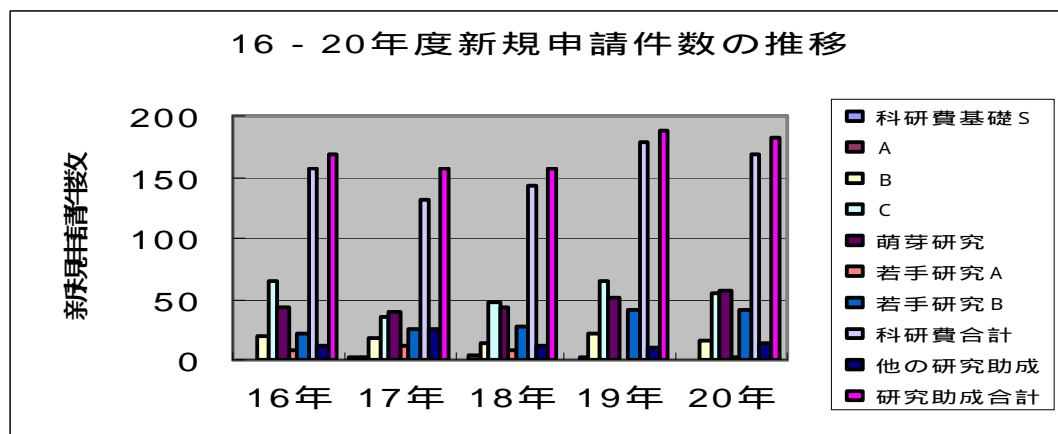
3. 形成外科女性医師における勤務実態調査について検討中。

#### 資料. 認定施設に対する科学研究費等補助金の取得状況調査結果

回答数：85(医育機関 47施設、その他 38施設)

回答率：85/211(40.3%)(医育機関 47/58(81%)、その他 38/153(24.8%))

| 研究種目   |   | 16年度新規申請数 | 16年度新規採用数 | 17年度新規申請数 | 17年度新規採用数 | 18年度新規申請数 | 18年度新規採用数 | 19年度新規申請数 | 19年度新規採用数 | 20年度新規申請数 |
|--------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 科研費基礎  | S | 0         | 0         | 1         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|        | A | 0         | 0         | 2         | 1         | 3         | 0         | 1         | 0         | 0         |
|        | B | 19        | 4         | 17        | 4         | 13        | 3         | 21        | 8         | 16        |
|        | C | 65        | 16        | 36        | 8         | 48        | 14        | 65        | 13        | 55        |
| 萌芽研究   |   | 43        | 4         | 39        | 7         | 44        | 5         | 51        | 6         | 56        |
| 若手研究A  |   | 8         | 2         | 11        | 2         | 8         | 1         | 1         | 1         | 1         |
| 若手研究B  |   | 21        | 5         | 25        | 5         | 28        | 16        | 41        | 12        | 41        |
| 科研費合計  |   | 156       | 31        | 131       | 27        | 144       | 39        | 180       | 40        | 169       |
| 他の研究助成 |   | 12        | 7         | 26        | 19        | 12        | 9         | 10        | 33        | 14        |
| 研究助成合計 |   | 168       | 38        | 157       | 46        | 156       | 48        | 190       | 73        | 183       |



平成19年度の“他の研究助成”の採択率は申請件数のデータの信頼性が薄いため削除した。

補助金獲得に向け注意・工夫している点がありましたらお答え下さい。

(該当項目に をつけてください。複数回答可)

- 1) 各種補助金募集期間中の年次予定の一覧などを作成している。 2
- 2) 科研費以外の補助金にもできる限り応募するようにしている。 12
- 3) 申請書類の記載に採択されるよう工夫を凝らしている。(記載を) 17

具体性のある研究を心がける。未解決の問題に解答をもたらす研究や効果的にアピールするようにする。審査員の目線で作成。基盤研究は過去の業績に基づいて発展させる。図・表をいれてわかりやすくする。空白を少なくする。使用する用語を統一し、バランスの取れた記載をする。

- 4) 書類提出前に、形成外科内で“ブラッシュアップ”を行っている。 7
- 5) 書類提出前に、複数の診療科・施設全体で“ブラッシュアップ”する。 5
- 6) その他(上記以外の注意点がございましたら記載してください)。 5

書類提出前に大学内の説明会を設けている。可能な限り、他の施設や研究室と共同研究をする。基礎医学・歯学の先生と一緒に研究する。

#### 14) 関連領域検討委員会

委員長：清川 兼輔

委員：秋田 定伯、岩澤 幹直、岩平 佳子、大城 貴史、黒川 正人  
瀬崎晃一郎、中塚 貴志、三鍋 俊春

開催年月日：平成19年10月11日、その他メール委員会

主な議題：参加を優先すべき関連学会について

活動の概要：1. 関連学会における形成外科医の会員数、評議員数、理事数について調査した。  
2. 形成外科医が積極的に参加すべき関連学会の優先順位について、委員会メンバー内でアンケート調査を行った。メンバー全員によって「日本創傷治癒学会」への参加の重要性が確認された。

#### 15) 用語委員会

委員長：柴田 実

委員：梅田 整、垣淵 正男、亀井 譲、木村 得尚、久徳 茂雄  
清澤 智晴、桜井 裕之、田中 一郎、野瀬 謙介、福屋 安彦  
吉田 純、吉本 信也

開催年月日：平成19年10月11日

主な議題：形成外科用語集第4版改訂作業

活動の概況：用語集 最終チェックの段階で、日本医学会用語集との照らし合わせ作業(共通用語の整理、統一)を委員分担で行い、一部未着のものもあるが現在最終検討段階にある。

2007年年末を期限に各委員に最終チェック分担表を作成し、作業の依頼をした。

第4版用語集はこの春の総会で予算が計上される予定であり、総会終了後速やかに、印刷出版作業に入る予定である。

日本医学会辞典が充実化されてきており、電子化により CD および、Web による研修が可能となっているので今後、第4版以降は

日本形成外科学会用語もすべて日本医学会辞典に統合することを検討する予定。

形成外科用語集の電子ファイルは今回チェック後のファイルを日本医学会に提供し(2008年1月の理事会で了承)、辞典と形成外科用語集の統一を図る予定。

#### 16) ビデオライブラリー委員会

委員長：柴田 実

委員：飯田 直成、木下 浩二、清澤 智晴、竹内 正樹、三鍋 俊春

開催年月日：平成19年10月12日

活動の概要：懸案の現有ビデオDVD化がほぼ終了

今後のDVDビデオ作製について

1) 有料販売を考えて作製(¥5,000程度)

2) 制作者には謝礼を支払う(¥50,000程度)

3) 学会等の教育講演のビデオ化の検討 清澤智晴委員担当

(ア) 制作会社の検討

(イ) 制作費用の検討

4) 臨床例ビデオの作成依頼の検討 三鍋俊春委員担当

(ア) まずは専門医試験10症例に相当する症例ビデオの作成

(イ) 依頼者リストの作成

以上を当面の活動内容と決定した。

#### 17) 専門医試験問題作成委員会

委員長：山本 有平

委員：田中 克己、土佐 泰祥、三鍋 俊春、菅原 康志、寺師 浩人、  
赤松 正、大場 創介、緒方 寿夫、柏 克彦、貴志 和生  
倉片 優、桑原 理充、桜庭 実、澤泉 雅之、白壁 征夫  
堤田 新、西村 剛三、橋本 一郎、朴 修三、三川 信之  
元村 尚嗣、山内 俊彦、渡邊 彰二 \*下線は分野責任者

開催年月日：平成19年10月12日：委員全体会議

平成20年3月29日：分野責任者会議

その他メール委員会：多数

主な議題：1. 問題の質向上(3037題、記述式55題)

\*適正な分野再編成・配分&問題数の平均化

(例：350題/分野~8分野構成2800題)

\*新規作成問題：医療安全、医療倫理

活動の内容：1. 分野責任者&各分野担当委員の決定

2. 平成19年度版問題集CD-ROMの作成

3. 平成19年度版問題集CD-ROMの配布、販売

4. 問題の見直し&再編業務

5. 医療安全、医療倫理に関する問題作成(32題)

#### 18) 将来計画特別委員会

委員長：川上 重彦

委員：多久嶋亮彦、田原 真也、野崎 幹弘、波利井清紀、松本 和也

村上 正洋、山本 有平

開催年月日：平成19年10月12日、その他メール委員会

主な議題：1) 日中形成外科学会、日韓形成外科学会のあり方について  
2) 疾患別ガイドライン作成委員会について

活動の概要：1) 日中形成外科学会、日韓形成外科学会の助成を理事会に答申  
2) 疾患別ガイドライン作成委員会を小林誠一郎委員長のもとに立ち上げた。

#### 19) 選挙制度検討委員会

委員長：清川 兼輔

委員：朝戸 裕貴、井砂 司、石倉 直敬、一瀬 正治、上村 哲司  
菊池 雄二、角谷 徳芳、竹内 正樹

開催年月日：平成19年10月12日

主な議題：選挙制度の変更について

活動の概要：1. 18の基本領域診療科の学会における評(代)議員、理事の選挙制度について調査し、現在の日本形成外科学会の選挙制度が、基本領域診療科としての選挙制度として問題ないかを検討し、特に問題ないことを確認した。  
2. 初期臨床研修制度の導入によって、現在の会員歴10年では、選挙権の取得において専門医とそうでない会員に5年の格差が生じている。  
今後は会員歴8年にすることで、その格差を以前と同様の3年に戻すこととした。これにより、専門医取得者8年目(最短)それ以外は初期臨床研修1年目での入会者9年目、初期臨床研修2年目での入会者10年目、初期臨床研修終了後(3年目)での入会者11年目に選挙権、被選挙権が取得されることになる。

#### 20) 国際医療協力委員会

委員長：内沼 栄樹

委員：青木 律、磯貝 典孝、木村 中、小林 一夫、佐藤 兼重  
下間亜由子、西野 健一、福屋 安彦

開催年月日：平成19年10月11日、平成19年10月17日

主な議題：1. 海外での医療活動について  
2. 形成外科医の関わりについて

活動の概要：1. 特定非営利活動法人の現状を調査した。  
2. (社)日本形成外科学会として、何が協力できるか、何が協力できないか検討した。

#### 21) 医療用器材等検討委員会

委員長：内沼 栄樹

委員：青木 律、岩平 佳子、黒川 正人、桜井 裕之、中岡 啓喜  
百束 比古、松村 一、迎 伸彦、吉田 純

開催年月日：平成19年10月12日(中止)

主な議題：無

- 活動の概要： 1. 乳房インプラント分析費用総額 60 万円の内、残高 30 万円を日本医科大学に支払った。
2. 国内外で流通している医療用器材の情報入手
  3. 医療用器材の不具合状況についての情報入手

## 2 2 ) 専門医制度検討委員会

委員長：鈴木 茂彦

委員：熊谷 憲夫、菅原 康志、中西 秀樹、藤川 昌和、山本 有平  
吉村 陽子

開催年月日：平成 19 年 7 月 6 日 平成 19 年 10 月 11 日

その他メール委員会

主な議題： 1. 専門医制度にかかわる諸問題の検討

活動の概要： 1. 専門医認定制機構よりの要請事項，指摘事項の検討

「国民に開示する専門医医師像」の作成

「形成外科専門医」とは

2 年間の初期臨床研修終了後、形成外科領域全てに関して、定められた研修カリキュラムにより 4 年以上の専門医研修を修め、資格試験に合格し専門医として認定された医師です。

傷や変形をきれいに治すことを主な目的とし、顔や手足など身体表面の、ケガや顔面骨折、やけど、あざ、腫瘍、先天異常、皮膚潰瘍、がんの切除・再建、乳房再建および美容医療などについて専門的な知識と診療技術を持ち、これらの領域に関して適切に対応する診療を行い、必要に応じて他領域の専門医と共同して治療を行う能力を備えた医師です。

2. 専門医認定委員を 15 名から 18 名に増員するにあたり検討すべき課題に関する委員会答申

3. 専門医制度の抜本的改正へ向けての検討

## 2 3 ) 医療安全推進委員会

委員長：保阪 善昭

委員：内沼 栄樹、嘉島 信忠、片倉 優、毛山 章、小園喜久夫  
小林誠一郎、館 正弘、仲沢 弘明、西野 健一、平野 明喜  
細川 亙、松本 和也、迎 伸彦、山脇 吉朗、横尾 和久

開催年月日：なし

主な議題：会員専用ホームページ開設について

活動の概要： 1. 各支部より委員を指名し平成 19 年 4 月に新委員会を発足した。

2. 学会のホームページに会員専用ページを設け、会員に ID、パスワードを配布した。パスワードを入れる事によって閲覧できるようにした。

3. 厚生労働省や他学会からの形成外科に係る医療事故・合併症・副作用等の注意文書や報告書を会員専用ページに掲載した。

4. 製薬会社の添付文書変更に対して、日本麻酔科学会からの注意文書とともに注意を促した。

## 24) データベース委員会

委員長：木股 敬裕

担当理事：鳥飼 勝行

委員：垣淵 正男、金子 剛、小林誠一郎、小林 正弘、小室 裕造  
武石 明精、田中 克己、前川 二郎、矢野 健二

開催年月日：データベース委員会：平成19年4月10日 6月14日  
9月21日 10月11日 12月14日  
平成20年2月8日

DBシステム会議：平成20年2月19日 3月4日  
3月27日 その他：e-mail 委員会数回

主な議題：1. システム内容について  
2. 新疾患分類について  
3. 新医療行為分類について  
4. 契約会社選考について  
5. システム開発費用について  
6. 倫理委員会の必要性について

活動の概要：1. システム内容についての検討  
2. DB項目の検討  
3. 収集データの出力解析内容の検討  
4. 契約会社の最終選考（株式会社、シスプラン、東京）  
5. 新疾患分類作業、新医療行為分類作業の継続  
6. 理事会への随時経過報告  
7. 認定施設対象のDBに関するアンケート調査  
8. 学会員向けのDB開発に関する会告（1次・2次）  
9. 今後の流れについての検討

## 開発予定のデータベースシステム原案

### 1) DB構築に必要な分類

・日本形成外科学会新疾患分類（JPS-CD1）：学会ホームページ分類を参考にし、対外的効果を踏まえかつ現状に即した新分類を目的。大分類（外傷、先天異常、腫瘍、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、難治性潰瘍、炎症・変性疾患、美容、その他）の下に中分類、小分類、そして最終疾患名となる原案を作成中。

・日本形成外科学会新医療行為分類（JPS-CM1）：MEDIS社の提供によるICD9CMの形成外科関連9700項目から、2800項目まで絞り最終原案を作成中。

### 2) 本システム利用の対象施設と報告時期

認定施設・教育関連施設を対象。年1回の報告とし、前年次の情報を報告する。

### 3) 各施設に配布予定のデータベースの項目

データベースの要件は、1) 学会に送る必要情報を含む、2) 各施設のデータベースとして利用できる（簡便かつ検索機能付）、3) 各施設に特有な情報に対応できる、4) 個人情報保護されていることである。各施設のデータベースとして機能するための項目を必須項目、それ以外をオプション項目、そして学会事務局に送るべき情報を提出項目とした（具体的な項目の原案は学会誌28巻第3号第二次会告参照）。提出項目には、患者個人を容易に特定できる情報（個人情報）は含まれず匿名化を原則。さらに、提出項目は高度に暗号化され、郵送途中で紛失しても解読不可能である。また当該症例の治療経過を追跡調査する必要性はなく、連結不可能匿名化となる。従って、患

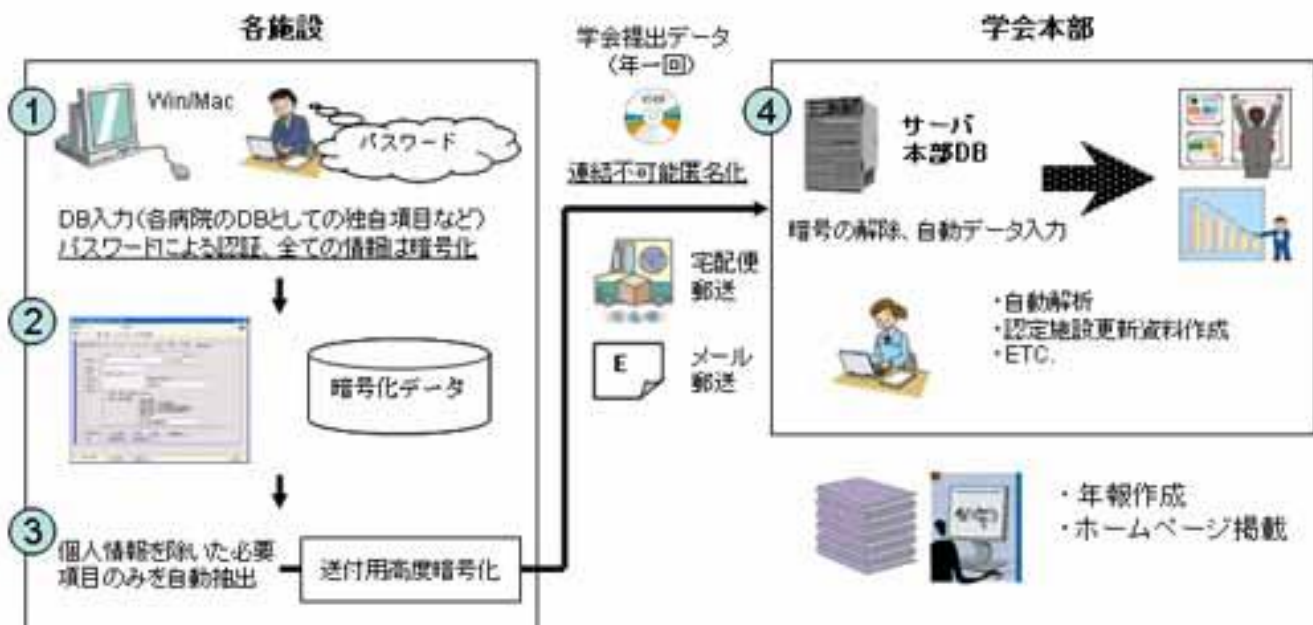
者から IC を要しないシステムを想定している。

#### 4) 開発予定のシステム概要案(下図)

システムの概要案を図4に示す。全体として4つの流れがある。1)各施設のパソコンにインストール、2)一年分の疾患情報を登録、3)年一回、事務局送付データを作成し、CD等のメディアで郵送・Eメール添付などで事務局へ送付、4)事務局は全施設から収集したデータを解析するという概要となる。

施設側システムは以下のような特徴を持つ。

- ・動作環境は一般的な性能のパソコンを想定し、Windows、MacOSXに対応する
- ・Windows、MacOSXで同様の操作性を提供し、複数台のパソコンで利用可能とする
- ・インストーラで導入し、登録画面はシンプルで入力が簡単なものとする
- ・登録画面はプルダウンメニュー・履歴機能などにより簡便な操作性を提供する
- ・マウスによる入力を基本とし、入力の手間を軽減する。
- ・各施設独自の項目を追加可能とする(オプション項目)
- ・独自の項目名の追加や、入力不要なオプション項目を消す機能を提供する
- ・登録情報の検索機能と他システム向けのファイル出力機能を持つ



#### 5) 契約開発会社の候補

4社から、DB項目案とデータ抽出案に伴う見積もりの提示をいただいた。そして、安全性とコスト面、そして過去の実績(骨軟部腫瘍学会のDB構築など)を考慮し、

“株式会社 シスプラン” を契約第一候補として決定した。

設立：1985.10.19

事業所：港区赤坂

代表取締役：古田 実

取引先：ケンウッド、沖電気、電通、日本整形外科学会など多数



## 6) 今後の予定

疾患分類と医療行為分類（JPS -CD1, JPS -CM1）そして学会事務局での出力項目などは、認定施設制度、専門医制度、用語委員会など各種の形成外科学会関連委員会の活動に關与してくる。本委員会の委員が、それら各委員会にてシステム概要の説明や作業経緯を報告していくことで、ご意見・ご要望をいただきシステムに修正を加えていく。

形成外科学会倫理審査委員会（発足予定）ならびに、本委員会の各委員の施設における倫理委員会の審査を受け修正を加え承認を得て、各認定施設の判断のもと（必要であれば各施設で倫理委員会の審査・承認を受ける）に行う予定である。

作業の進捗状況によるが、2009 年次中には開発データベースを各施設に配布し、2010 年に第 1 回のデータ収集を目標としている。